



SOGIE Comm. Times

民医連SOGIEコミュニティの情報や活動を発信します！

「トランスジェンダーの 健康と医療に関する研究会」 発足しました！

近年、トランスジェンダー（生まれた時に割り当てられた性別と、自身で認識する性が一致していない人）が適切な医療を受けられる環境の整備が求められています。ホルモン療法や手術療法を希望する場合だけではなく、急病や生活習慣病であっても、日本国内では医療基盤が十分に整っておらず、当事者が安心して受診できる医療機関に限られているのが現状です。その結果、希望する医療を受けるために遠方の病院を探したり、長い待機期間を強いられるケースが少なくありません。

こうした状況を改善するため、2024年12月に「トランスジェンダーの健康と医療に関する研究会」を立ち上げました。この研究会の目的は、全国規模の医療ネットワークを持つ民医連内でトランスジェンダー医療を推進し、医療者の裾野を広げることにあります。トランスジェンダーの医療に関心を持つ医師や医療機関が増えれば、当事者が安心して受診できる環境が全国的に整うことにつながります。

さらに、この取り組みは単にホルモン療法や手術療法の提供にとどまりません。トランスジェンダー当事者がその他の疾患や症状でも医療機関を受診しやすくなることも重要な目標です。医療者がトランスジェンダーについての理解を深めることで、急病や生活習慣病などの場合にも安心して診察を受けられる環境が整備されます。

現状では、医療機関での偏見や無理解が原因で、受けるべき治療を避ける当事者も少なくありません。この研究会の活動を通じて、トランスジェンダー医療の知識を広めることで、こうした状況を改善していくことを目指します。

全国の民医連加盟医療機関が協力しトランスジェンダー医療の提供体制を強化することで、どこに住んでいても適切な医療を受けられる社会を実現したいと考えています。トランスジェンダー当事者が医療機関を選ぶ際に迷わず、安心して受診できる環境づくりは、すべての人にとってより良い医療の実現にもつながるでしょう。

私たちはこの研究会の活動を通じて、これまで述べた「受診・利用できる医療機関の拡充」に加え、「ホルモン治療の保険適応を目指す」、「ホルモン治療のガイドラインの作成」など、トランスジェンダー当事者が社会的・医学的に公平・安全な医療を受けられる支援をしたいと考えています。

まだ始まったばかりですが、多くの医療者や関係機関と連携しながら、この取り組みを拡げていきます。

皆様のご協力をぜひよろしくお願いいたします。

研究会参加
申し込みフォーム



「TOKYO PRIDE 2025」と 「SOGIEフェス 2025」

日本最大級のLGBTQ+関連イベント「TOKYO Rainbow Pride」が、2025年から「TOKYO PRIDE 2025」と名称を新たにし、さらなる発展を遂げることが発表されました。この変更は、イベントの対象をより広く包括し、すべての人が誇りを持って生きられる社会を目指すためのものです。

私たち全日本民医連SOGIEコミュニティも、新たな節目を迎えるこの機会に、6月6日に「SOGIEフェス」を開催することを企画しています。

「TOKYO Rainbow Pride」は、2011年から毎年開催されてきた日本最大級のプライドイベントであり、LGBTQ+当事者やアライ（支援者）たちが集い、多様な性のあり方を祝う場として成長してきました。2025年から「TOKYO PRIDE 2025」となることで、より包括的で開かれたプラットフォームとなることが期待されています。この変更には、「レインボー」にとどまらず、より多様なアイデンティティを包括し、性的指向・性自認・ジェンダー表現（SOGIE）に関わるすべての人々が安心して参加できる場を作りたいという思いが込められています。

全日本民医連SOGIEコミュニティとしても、この変化を歓迎し、私たち自身が医療・福祉の現場でどのように多様性を尊重し、支援を提供できるのかを考える機会としたいと考えています。そこで、TOKYO PRIDE 2025の開催に合わせ、6月6日に交流企画「民医連SOGIEフェス2025 ～つながり、広げよう、アライの輪～」を開催します。

民医連SOGIEフェス2025では、LGBTQ+医療に関する最新の動向を共有し、現場での取り組みや課題について意見交換を行う予定です。また、TOKYO PRIDE 2025に参加する仲間同士の交流を深め、当事者やアライが安心して活躍できる職場環境を作るためのアイデアを話し合う場としたいと考えています。さらに、プライドイベントの意義や、地域医療の現場でのLGBTQ+支援のあり方について学ぶ機会ともなるでしょう。

社会全体が多様性を受け入れ、一人ひとりが自分らしく生きられる未来を実現するために、私たち民医連SOGIEコミュニティも積極的に活動を続けていきます。TOKYO PRIDE 2025を契機に、共に考え、支え合い、行動していきましょう。

多くの方々と共に、より良い未来について語り合えることを楽しみにしています。

民医連SOGIEフェス2025 概要

日時：6月6日（金）13時～17時30分

（終了後 懇親会）

場所：東京ラパスビル7階

プログラム

13:00～13:15：開会挨拶・事務連絡

13:15～14:15：シンポジウム

LGBTQ+医療に関する最新の動向を共有し、現場での取り組みや課題について議論します

（休憩：15分）

14:30～16:00：映画『スクリプト』試写会

LGBTQ+に関連する映画『スクリプト』の鑑賞と当事者による座談会を行います

16:10～17:10：活動報告

各県連から活動報告をしていただきます

17:10～17:20：閉会挨拶・事務連絡

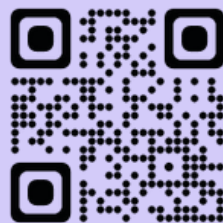
18:00～：懇親会（別会場）

参加者同士が自由に交流し、意見を交換する時間としたいと思います

申し込み方法：

各県連へ通達しています。

県連へお問い合わせいただくか、右のQRコードからメールでお申し込みください。



公式LINEアカウント発足

お知らせ

民医連SOGIEコミュニティの公式LINEが発足しました。タイムリーな情報を発信していきます。ぜひご参加ください！



"LINEオープンチャット"で職場での取り組みや悩みを共有しよう！

どなたでも匿名で参加できます。ご案内とマニュアル（PDFファイル）を右のQRコードからダウンロードし、手順に従ってお入りください。





SOGIEコミュニティ メンバー紹介

各メンバーの紹介と記事を載せています。第二回は比嘉さんです。

メンバー紹介 第2回



比嘉 研 / ヒガ ケン
利根中央病院
総合診療科 医師



私がAllyになったわけ

この記事を書くにあたり、私がなぜALLYとして振る舞うようになったのか、改めて考えました。

最初に「性的マイノリティ」（当時この言葉は知りませんでしたが）の存在を意識したのは、小学生の頃に聴いていたカルチャー・クラブです。中学・高校と音楽一色の生活になるうちに、同性愛や異性装のミュージシャンの存在を知りました。映画や漫画でもマイノリティに触れてきましたが、音楽の影響が最も大きく、極上で本物の音楽を生み出す人々に対する畏敬の念を持つようになりました。そのようなミュージシャンには少なからずマイノリティ（人種、国籍、性別、性自認、性的指向など）がいて、彼らは歴史の中で大きな役割を果たしてきたのですが、その背景には社会（マジョリティ）の抑圧への抵抗、「闘い」がありました。

2022年に、にじいろドクターズ主催の学習会で性的マイノリティについて学ぶ中で、私自身のマジョリティ側の部分を認識した時、「私を救ってくれた音楽と音楽家への恩返しをしないと」という使命感が体の奥から湧き上がりました。論理的に飛躍（破綻？）していることは承知していますが、さらに加えると、自由を脅かす権威や権力に対して抵抗してしまう気質が備わっていたことも拍車をかけたようです。

もう一つ思い出しました。私の母が体が不自由だったので、自宅には様々な便利グッズがありました。私が使っても便利なものが多く、「マイノリティが生きやすい世界は、マジョリティにとっても生きやすい」という価値観が育まれたことも、今になってみると理解できます。

ALLYを名乗ることにためらいはありませんが、私にはマイノリティを「支援する」という意識はほぼありません。私が理想とする「誰もが平等で自由に振る舞える世界」に向けて、一つ一つ積み重ねていきたいと思います。

活動記録

2021年

契機

- ・18歳 X Gender, Bisexual
- ・12歳 性別に対する違和感
- 情報・指針に乏しく手探りで診療

2022年

7月から半年間（毎月）、一般社団法人にじいろドクターズ主催の学習会を受講
『臨床に携わる医師向けLGBTQIに関するヘルスケア学習プログラム』



Mission / 使命

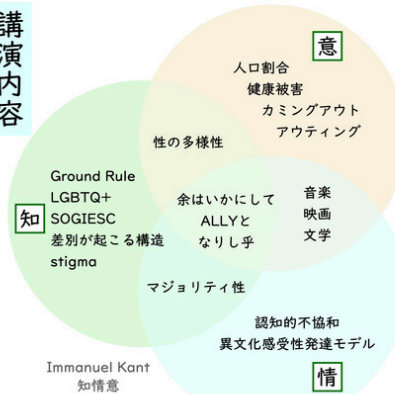
- ▶ 性的マイノリティの代弁者（advocate）となる
- ▶ 性的マイノリティフレンドリーな職場を作る
- ▶ 医療者に性的マイノリティについて知ってもらう



2023年度

J-HPH スプリングセミナー WS	4月	
全日本民医連SOGIEコミュニティに参画	6月	高崎中央病院 学習会（全3回） 『性的マイノリティについて』
民医連『初期研修医 2nd. Meeting』	6,7,8月	
民医連『関心ある人集まれ！ イベント』	10月	産業医研修セミナー 講師（全2回） 『性的マイノリティの働き方をケアする』
民医連『医系学生奨学生のつどい』	10,11月	
	11月	初期研修医 Resident Day 『性的マイノリティ』
	2024年1月	医系学生対象 学習会 『医師から学ぶLGBGQ+』
	2月	

講演内容



反省・失敗、注意していること

個人ワークのやり方
「マジョリティ」の説明
参加者同士の知識・温度差
講師のSOGIEを開示すべき？
ヘイト（まていかなくても...）
否定的な意見を出しにくい雰囲気・風潮

take home message

性的マイノリティを取り巻く
「問題」は「性」の問題ではない。
アイデンティティと人権の問題。

New Mission!

- ▶ トランスジェンダー医療
- ▶ 診療・研究のネットワーク作り
- ▶ 小児・若者の居場所作り



書籍紹介
『多様性の科学』 渡辺 著 Matthew Syed 著
『コミュニティ・オーガナイズ』 鎌田 著
『LGBTQ+の働き方をケアする本』 宮川 著
『医療者のためのLGBTQ講座』 吉田 著
『トランスジェンダーと性別変更』 高井 著

質問や相談などはこちらへお願いいたします。 Higa.Ken.X@gmail.com

2024年の日本プライマリ・ケア連合学会学術大会で「活動報告」として発表したポスターです。

長屋 春香 / ナガヤ ハルカ
勤医協札幌病院
ソーシャルワーカー

菊地 修司 / キキ シュウジ
城南病院 院長
内科 医師

加賀美 理帆 / カガミ リホ
城南病院 副院長
リハビリテーション科 医師

比嘉 研 / ヒガ ケン
利根中央病院
総合診療科 医師

吉田 絵理子 / ヨシダ エリコ
川崎協同病院
総合診療科 科長

杉山 基樹 / スギヤマ キツト
全日本民医連職員育成部
(出向元：川崎医療生協)

近藤 歩 / コントウ アツミ
健生会にしき訪問看護ステーション
事務

徳山 通 / トクヤマ トオル
全日本民医連
医療部担当常駐理事

西村 峰子 / ニシムラ ミナコ
全日本民医連職員育成部

朝倉 彩香 / アスカ アヤカ
松本協立病院
作業療法士

河野 絵理子 / カワノ エリコ
長野中央病院
総合診療科 医師

光武 鮎 / ミツタケ アサ
松本協立病院
小児科 医師

深澤 喜直 / フカサワ ユキナオ
甲府共立病院
産婦人科 医師

外松 慶土 / ソトマツ ケイト
土庫鍼灸治療所
鍼灸師

玉木 千里 / タキ チル
京都協立病院 院長
医師

川上 和美 / カガミ カズミ
社会医療法人芳和会本部
看護・介護部長



NO! アウティング

アウティングとは、**本人の同意なく**セクシュアリティ（性的指向や性自認など）に関することを第三者に暴露したり、SNSに書き込んだりしてしまうこと。善意であってもアウティングは本人にとって大変な苦痛を与え、場合によっては**就労継続困難**となったり、**社会的孤立**や**メンタルヘルスの悪化**につながる事があります。時には**命にもかかわる重大な問題**かつ**人権侵害**であることを理解してください。立場が経営者/人事担当者/管理職などであっても本人の同意なしに第三者へ伝えてしまうことは、アウティングに該当するため注意が必要です。

自身のセクシュアリティを周囲に伝えるのか、誰に伝えるのかの決断には覚悟がいるもの。セクシュアリティを人に伝える（＝**カミングアウト**する）かどうかは**本人の意思によるべきであり、人それぞれ**です。もしカミングアウトを受けた場合は、本人からの信頼が前提にあることを忘れず、**落ち着いて話を聞き、受け止める**ことが大事です。職場の仲間であれば、誰に伝えているのか/誰かに伝えてよいのかを確認しましょう。クライアントであれば、医療従事者として治療の選択やケアの提供に関わる場合でも、情報の取り扱いには十分な注意が必要です。

職員向け 相談窓口

民医連

職場内での困りごと
取り組み・質問

投稿フォーム

こちら
から



SOGIEコミュニティは、民医連があらゆるSOGIE（性的指向・性自認・性表現）の人にとって、働きやすく、受診（利用）しやすい場になるよう活動しています。

私たちは、よりよい環境作りのためには、現状を知ることがとても大切だと考えています。

民医連で働く皆さんが、もし職場内で多様なSOGIEが尊重されていないと感じていることがありましたら、左のQRからお知らせください（フォームが開きます）。

送っていただいた個々の事例について、すぐに解決に繋げることは難しいかもしれませんが、SOGIEコミュニティの活動内容にしっかりと反映いたします。

各地の活動や取り組みの報告もお待ちしています。
ドシドシお寄せください!! 右のQRからどうぞ→



〈 人権と倫理センター 〉 ☒ min-mirai@min-iren.gr.jp

日頃の仕事や活動の中で人権や医療に関して、相談したいこと、誰かと共有したいこと、議論したいと感じたことなどがあれば、お気軽にメールください。

新しい年度が始まりました！ SOGIEコミュニティ発足から今年で3年目になります。この2年間にも様々な出来事がありました。遅々とした歩みではありますが、確実に前進していること、輪が広がっていることを感じています。

今号での記事の通り、6月にSOGIEフェスを開催します。全国の仲間と顔を合わせられる機会です。ぜひ参加いただき、みなさんの経験を教えていただきたいです。また現場で感じる困難なことも共有いただくことで、何かしら解決方法が見つかるかもしれません。そして「志を同じくする仲間が全国にいる」と知ることが、困難なことを継続するための底力になることと思います。

それでは皆さん、またこのTimesで、あるいは様々な現場で顔を合わせられることを楽しみにしています。
(文責：比嘉 研)

編集後記

